

房総がんケアフォーラム

テーマ:癒しの力を高めるヒント



3月16日(土) 午後1時30分から
亀田総合病院Kタワー 13階ホライゾンホールを会場に、「第11回房総がんケアフォーラム」を開催いたします。

昨年に引き続き、NPO法人サイモントン療法協会 副理事長の田村祐樹先生を講師にお迎えし、「癒しの力を高めるヒント～サイモントン療法(心理療法)から～」というテーマでご講演いただきます。

- 当日参加も可能ですが、人数把握のため、3月9日(土)までに電話またはFAXにて、参加者のお名前とご連絡先を添えて、お申込ください。(参加費無料)

【申込・問い合わせ先】

亀田総合病院 がん拠点病院推進センター
TEL: 04-7099-1230 / FAX: 04-7099-1231
(担当: 大橋・黒川・唐鎌)

bayfm「MEDICAL UPDATES」

春原佑紀さんがラジオパーソナリティーを務めるbayfmの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー(約10分)が好評放送中です。

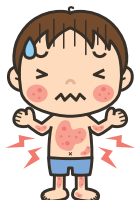
- 3月は千葉恵子緩和ケア認定看護師が出演いたします。ぜひ、お聴きください。



**麻しん(はしか)は
ワクチン接種で予防を!**

全国的に、「麻しん(はしか)」の感染が拡大しています。麻しんは感染すると10～12日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。最初の症状が出てから、7～10日程度でよくなってきますが、肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻しんは感染力が強く、空気感染をするので、手洗い・マスクのみで予防できません。母子手帳を確認の上、未接種の方はワクチン接種で予防しましょう。



ゴールデンウィーク期間中の 外来診療態勢について

■亀田クリニックの診療態勢について

亀田クリニックについては、連休による診療への影響等を考慮し、下記のとおり外来診療を行います。ただし、新電子カルテ運用開始となる5/1(水)から5/4(土)の間は予約・当日受付を縮小しての診療となりますのでご注意ください。なお、歯科センターについては4/28(日)～5/6(月)まで休診とさせていただきます。ただし、急な口腔内トラブルに対応するため、一部日程で救命救急センターに歯科医師が常駐する予定です。詳細は救命救急センターの診療態勢と合わせて後日お知らせいたします。

4/27(土)	5/1(水)	5/2(木)	5/3(金)	5/4(土)
通常どおり	予約・当日受付を縮小して診療			

新電子カルテ導入後しばらくは操作に不慣れな部分もあり、多少の混乱や診療時間・待ち時間が通常より長くなることが予想されます。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



理・美容室 店名変更のお知らせ



5棟1階の理・美容室の店名が3月より「Le Paysage(ル・ペイザージュ)」になりました。

営業時間はこれまでどおり、月～土曜日は午前9時～午後7時、日曜・祝日は午前9時～午後6時となります。サービス内容や利用料金等はこれまでと変わりません。また、利用ポイントも継続いたしますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

便失禁に対する無料電話相談

便失禁でお悩みの方に、治療法を含む適切な情報を提供する目的で、毎月、専門医や皮膚・排泄ケア認定看護師による無料電話相談を下記のとおり実施しています。

■日時: 3月6日(水)・20日(水) 午後2時～4時
■電話番号: 04-7099-1206(直通)

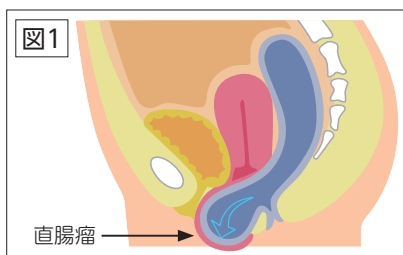


第12話 直腸瘤とは

おしりとお通じの解説も今回で最後となりました。最後にお話しするのは、女性の便秘の原因の一つである「直腸瘤(ちよくちょうりゅう)」です。

直腸瘤ってなに？

肛門の近く、直腸と呼ばれる便が最後に溜まる部分があります。女性は膣が存在するため直腸と膣の間の壁が弱く、便が溜まってきたり、排便をしようと息むと直腸の部分が過度に膨らむことがあります。これが膣から見ると直腸がコブ(瘤)のように見えるため「直腸瘤」と呼ばれています(図1)。骨盤臓器脱の一つでもあります。



どんな症状ですか？

便が肛門近くまで下りてくると、膣壁や会陰と呼ばれる肛門と膣間の皮膚が膨らんでくる、便を出そうと思んでも便が出しにくい、残便感があるなどの症状がよく見られます。排便困難の状態が長期間になると排便時に膨らんだ部分を押さえて排便をすることが習慣となってくる人もいます。

診断はどのようにするのですか？

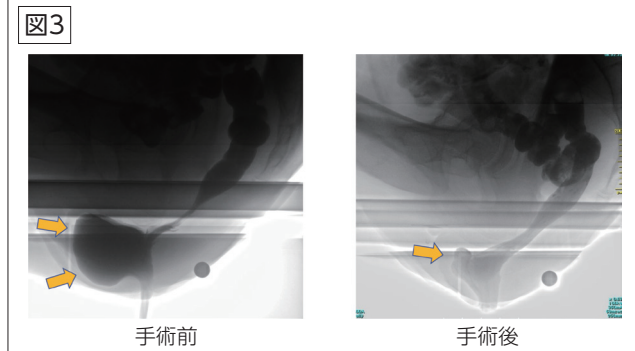
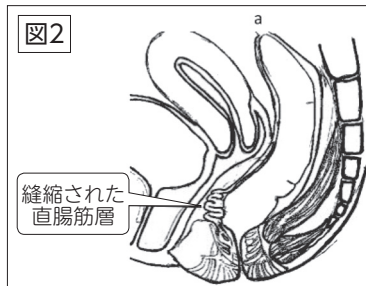
通常の外来で膣壁の膨らみをみてもわかりますが、確定診断には**排便造影検査**を行います。

この検査は直腸内に擬似便とよばれる便と同じような硬さのバリウムを注入し、レントゲン室に便座を設置して普段の排便を再現させて直腸の形の変化を観察す

る検査です。排便造影検査は同じような症状を呈する他の病気との鑑別するためにも必要な検査です。また、その他の骨盤臓器脱(膀胱瘤や子宮脱)が疑われる場合は超音波検査を行うこともあります。

治療方法は？

まずは、外来で行える簡単な治療を行います。便を有形軟便(形はしっかりしているが軟らかい状態)にして、スムーズな排便を心がけます。普段から便が硬い人には、便を軟化させる緩下剤を使います。また、摂りすぎで便が硬くなる不溶性食物センイを減らすこと、便を軟化する作用のある乳製品の摂取を増やす、水分保持に優れているセンイを含む米飯をしっかり取るなどの食事療法も効果があります。このような治療でも効果がない場合は手術を行います。当院では異物を使わない、膣の方には傷をつけない**経肛門的デロルメ手術**を行っています。この手術法は肛門から直腸瘤のコブにあたるたるんだ直腸壁を縫い縮めて改善させる手術です(図2)。痛みも少なく、入院期間が短い、膣に影響がないため比較的若い方に適した手術方法です(図3)。

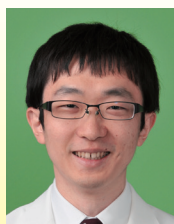


次回からはスポーツ医学科による新連載がスタートします。どうぞ楽しみに。

医師紹介

しろせ ゆうき
白勢悠記 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①産婦人科
- ②産婦人科
- ③茶道、絵画・写真鑑賞、スノーボード
- ④患者さまに寄りそい、安心の一助となれるよう努めます



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>